

## 令和3年度定例会6月会議開会挨拶（令和3年6月21日）

令和3年度定例会6月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

6月10日開催予定でした第72回北海道町村議会議長会定期総会は、コロナ感染症の影響により、昨年に引続き書面開催となりました。

大会決議は、新型コロナ感染症が終息せず住民の不安や負担が増大している状況、地方創生・地方分権改革の停滞等、地方自治を取り巻く厳しい現況を踏まえ、「住民の手が届く自治の確立を目指し、われわれ地方議会人は、今後とも地域住民の代表たる責務を深く自覚し、清新で活発な議会活動に努めるとともに、住民の負託に応え、課題解決に向け、総力を結集する。」として、

- ①新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
- ②コロナ禍での安心できる社会・経済活動の確保
- ③町村議会の活性化と議会の権限の拡充
- ④地方創生と地方分権改革の推進
- ⑤地方財政基盤の確立等

18項目の決議を採択しております。

### ◎6月10日、国会で、「政治分野の男女共同参画推進法」の改正案が成立しました。

政党や衆参両院に加え、男女共同参画の推進主体として新たに地方議会も明記され、女性議員を増やす実効性ある対策が求められることとなりました。

女性の政治参加を巡る格差と不平等の解消をめざし、各議会がその原因の究明と向き合い、対策を講じることが求められております。

改正法には、女性の立候補を妨げるセクハラやマタニティーハラスメントへの対応が盛り込まれました。男性偏重を改める啓発活動はもちろん、妊娠や育児中でも議会活動と両立できる施設・制度の整備、生活に支障なく出席ができる議会の開催時間見直しといった環境づくりも課題となります。

「議員年金の実現」「兼職規定の緩和」等と合わせ、「女性の議会参画」も議員のなり手不足解消の課題と位置づけ、福島町議会としても具体的な取り組みを推進していかなければなりません。

◎行政手続きの押印廃止・IT化・提出不要化等の簡略化については、国関連機関・北海道が、すでに新年度から積極的に実行しております。

今定例会に提案された、第5次総合計画変更案に「行政デジタル化推進事業」が

新規登載され、町としても、関連例規の整備を業務委託し、行政手続きの書面、押印、対面規制見直しに取り組むこととなります。

町長部局の取り組みに合わせ、議会としても関連事務全体について、定例会・各委員会等の案内、欠席届の押印省略等の試行を進めながら、簡略化・ペーパーレス化の視点で精査・見直しを進めてまいりたいと思っております。

出席者各位には、本6月会議の議事運営にご協力いただきますようお願い申し上げ、活発な討議が展開されますことを期待して開会の挨拶といたします。